

家畜交易市場法及關係命令

家畜交易市場法

家畜交易市場法

目次

○家畜交易市場法 ..... 一

○家畜交易市場法施行規則 ..... 四

●家畜交易市場法 (昭和二十二年六月二十八日勅令第百六十一號)

朕組織法第四十一條ニ依リ參議府ノ諮詢ヲ經テ家畜交易市場法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國務總理大臣 齋藤實  
陸軍部大臣 荒木貞夫  
海軍部大臣 米谷正二郎  
農林部大臣 齋藤實  
逓信部大臣 齋藤實  
司法部大臣 齋藤實  
文部省大臣 齋藤實  
厚生省大臣 齋藤實  
農務省大臣 齋藤實  
林務省大臣 齋藤實  
農林省大臣 齋藤實  
農務省大臣 齋藤實  
林務省大臣 齋藤實  
農林省大臣 齋藤實

- 第一條 本法ニ於テ家畜ト稱スルハ馬騾驢牛綿羊山羊豚及駱駝ヲ謂フ
- 第二條 家畜交易市場(以下單ニ市場ト稱ス)ハ公共團體又ハ命令ヲ以テ定ムル者ニ非ザレバ之ヲ開設スルコトヲ得ズ
- 第三條 市場ヲ開設セントスル者ハ業務規程及事業計畫ニ關スル書類ヲ具シ監督官署ノ許可ヲ受クベシ  
業務規程又ハ事業計畫ヲ變更セントスルトキハ監督官署ノ認可ヲ受クベシ
- 第四條 公共團體ニ於テ常設市場ヲ開設スルトキハ監督官署ハ其ノ申請ニ依リ主管部大臣ノ認可ヲ經テ必要ト認ムル區域内ノ私設市場ノ廢場ヲ命ズルコトヲ得
- 第五條 前條ノ場合ニ於テハ公共團體ハ廢場ヲ命ゼラレタル私設市場ノ開設者ニ對シテ損失ヲ補償スベシ  
前項ノ規定ニ依リ補償スベキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ監督官署ノ決定ヲ求ムベシ其ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ送付ヲ受ケタル日より九十日以内ニ法院ニ出訴スルコトヲ得
- 第六條 市場ニ於テハ其ノ場内又ハ附屬ノ場所ニ在ル家畜ニ非ザレバ之ヲ賣買又ハ交換スルコトヲ得ズ
- 第七條 常設市場ニ付主管部大臣ノ認可ヲ經テ監督官署ノ指定シタル區域内ニ於テハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外當該市場ノ取扱フ家畜ニ付市場ヲ開設スルコトヲ得ズ
- 第八條 家畜ノ賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ業トスル者ハ市場附近ノ區域内ニ於テ市場開場日及其ノ前後ノ期間中其ノ市

場ノ取扱フ家畜ニ付賣買交換又ハ其ノ周旋ヲ爲スコトヲ得ズ但シ命令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
前項ノ區域及期間ハ監督官署之ヲ指定ス

第九條 市場開設者ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ市場ノ取扱フ家畜ノ入場又ハ場内ニ於ケル賣買若ハ交換ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十條 公共團體ハ其ノ開設スル市場ノ業務規程中ニ五十圓以下ノ過意金ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第十一條 市場及其ノ附屬建築物ノ位置構造及設備、市場内ノ取引方法、市場内ノ仲立業者及家畜宿業者ノ資格及營業、市場監督並市場ニ付家畜傳染病豫防其ノ他家畜衛生上必要ナル事項ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 監督官署必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ市場若ハ其ノ附屬ノ場所ニ臨檢シ市場開設者仲立業者若ハ家畜宿業者ノ帳簿書類其ノ他ノ物品ヲ檢査シ、關係人ヲ訊問シ又ハ市場若ハ其ノ附屬ノ場所ニ在ル家畜ヲ診斷シ若ハ其ノ移動ヲ停止セシムルコトヲ得

第十三條 市場ノ休場又ハ廢場ハ監督官署ノ認可ヲ受クベシ市場開設許可ノ際監督官署ノ指定シタル期間内ニ開場セザルトキ亦同シ

第十四條 監督官署ハ左ノ事由アルトキハ市場開設ノ許可ヲ取消シ又ハ業務ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得  
一 市場開設者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

二 市場ノ開設カ衛生上危害アリ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキ

第十五條 許可ヲ受ケズシテ市場ヲ開設シタル者ハ六月以下ノ有期徒刑又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第三條第二項又ハ第十三條ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 第六條若ハ第九條ニ違反シタル者又ハ第十四條ノ規定ニ依ル停止若ハ制限ノ處分ニ服セザル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 第八條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 前條ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ第八條第二項ノ規定ニ依リ監督官署ノ指定シタル區域及期間内ニ於テ家畜店又ハ家畜宿ニ馬騾又ハ牛ヲ繋留シタル者ハ拘役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知りテ馬騾又ハ牛ヲ繋留セシメタル家畜店業者又ハ家畜宿業者亦同シ

第二十條 第十二條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ職務執行ヲ阻障シ其ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者又ハ同條ノ規定ニ依ル家畜移動停止命令ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 使用人其ノ他ノ従業員ニシテ其ノ使用主ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ罰則ニ觸ルル行為ヲ爲シタルトキハ該行為者ヲ罰スルノ外其ノ使用主ヲモ罰ス

第二十二條 家畜ニ關スル營業者營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者又ハ心神喪失者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スベキ罰則ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ適用ス

第二十三條 法人ノ使用人其ノ他ノ従業員ニシテ法人ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ罰則ニ觸ルル行為ヲ爲シタルトキハ該行為者ヲ罰スルノ外業務ヲ執行スル役員又ハ社員ヲモ罰ス

法人ノ業務ヲ執行スル役員又ハ社員前項ノ行為ヲ爲シタルトキハ其ノ役員又ハ社員ヲ罰ス

第二十四條 第二十一條又ハ前條第一項ノ場合ニ於テ使用主又ハ役員若ハ社員方當該違反行為ヲ防止スル途ナカリシコトヲ證明シタルトキハ之ヲ罰セズ

第二十五條 本法ニ於テ監督官署ト稱スルハ省長、北滿特別區長官又ハ特別市長ヲ謂ヒ特別市ノ開設スル市場ニ付テ

ハ主管部大臣ヲ謂フ

第二十六條 本法ハ帝國政府及地方行政官署ノ行フ家畜ノ賣買又ハ交換ニ之ヲ適用セズ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ公共團體ノ開設スル市場ハ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

### ●家畜交易市場法施行規則

康徳二年十二月二十八日  
農政本部令 第二十七號  
政 部 第 四 十 七 號

茲ニ家畜交易市場法施行規則ヲ左ノ通定ム

#### 第一條

家畜交易市場(以下單ニ市場ト稱ス)ヲ分テテ之ヲ常設市場定期市場及臨時市場トス

常設市場ト稱スルハ毎年百日以上開場スルモノヲ謂ヒ定期市場ト稱スルハ毎年定期ニ開場シ其ノ開場日數百日ニ達セザルモノヲ謂ヒ臨時市場ト稱スルハ常設市場及定期市場ニ該當セザルモノヲ謂フ

#### 第二條

家畜交易市場法第二條ノ規定ニ依リ市場ヲ開設シ得ル者ハ公共團體ヲ除クノ外主管部大臣ノ指定スル畜産ノ改良發達ヲ目的トスル組合其ノ他ノ團體トス但シ組合ニ非ザル團體ハ常設市場及定期市場ヲ開設スルコトヲ得ズ

#### 第三條

前條所定ノ組合其ノ他ノ團體家畜交易市場法第三條第一項ノ許可ノ申請ヲ爲サントスルトキハ其ノ章程又ハ

之ニ準ズルモノ及其ノ事業報告書ヲ監督官署ニ提出スベシ

第四條 業務規程ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ但シ仲立業者又ハ家畜宿業者ヲ置カザル市場ノ業務規程ニ在リテハ第六號又ハ第七號ノ事項ヲ省略スルコトヲ得

一 事務所ノ位置

二 家畜ノ種類

三 開場ノ日時

四 取引ノ方法及手續

五 市場ノ徵收スル料金及其ノ種類並徵收方法

六 仲立業者ノ手数料

七 家畜宿業者ノ宿泊料及繋留料

八 違約者處分ノ方法

九 前各號ノ外業務執行上必要ナル事項

前項第六號ノ仲立業者トハ市場若ハ其ノ附屬ノ場所ニ於テ家畜ノ賣買若ハ交換ノ周旋ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂ヒ第七號ノ家畜宿業者トハ市場若ハ其ノ附屬ノ場所ニ於テ家畜ヲ宿泊若ハ繋留セシムルヲ業トスル者ヲ謂フ

第五條 事業計畫書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ但シ臨時市場ノ事業計畫書ニ在リテハ第二號及第四號ノ事項ヲ省略スルコトヲ得

一 市場ノ名稱、位置及附近ノ見取圖

二 用地ノ面積及建物其ノ他工作物ノ名稱、面積、箇數、構造、設備並圖面

- 三 入場家畜見込數
- 四 事業資金及收支計算
- 五 市場ノ管理方法
- 常設市場又ハ定期市場ノ事業計畫書ニハ市場開設地方ニ於ケル家畜集散及取引ノ狀況共ノ他市場開設ニ關シ必要ナル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ
- 第六條 家畜交易市場法第七條ノ規定ニ依ル常設市場ノ區域内ニ於テハ臨時市場ニ限リ之ヲ開設スルコトヲ得
- 第七條 監督官署家畜交易市場法第七條又ハ第八條第一項ノ區域及期間ノ指定、變更又ハ取消ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示スベシ
- 第八條 家畜ノ賣買若ハ交換又ハ其ノ周旋ヲ業トスル者已ムコトヲ得ザル事由アルニ因リ當該市場開設者ノ同意ヲ得監督官署ノ許可ヲ受ケタルトキハ家畜交易市場法第八條第一項ノ區域及期間内ニ於テ家畜ノ賣買若ハ交換又ハ其ノ周旋ヲ爲スコトヲ得
- 第九條 市場ハ其ノ種別ニ依リ其ノ名稱中ニ常設家畜交易市場、定期家畜交易市場又ハ臨時家畜交易市場ナル文字ヲ用フベシ
- 市場ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ市場タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ
- 第十條 市場開設者ハ市場ノ管理者ヲ定メ其ノ氏名及住所ヲ監督官署ニ届出ツベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ
- 第十一條 市場開設者ハ市場ノ名稱ヲ榜示シ場内ニ業務規程ヲ備付ケ且其ノ摘要ヲ掲示スベシ
- 第十二條 市場開設者ハ家畜ノ種類別ニ彙帳ヲ調製シ入場家畜ニ付一匹毎ニ左ニ掲グル事項ヲ記入スベシ
- 一 入場年月日

- 二 産地又ハ購買地若ハ交換地
- 三 飼養地
- 四 性(牝、牝又ハ騾若ハ鬮ノ別)
- 五 毛色
- 六 馬、騾、驢及駱駝ニ在リテハ體高
- 七 牛、綿羊、山羊及豚ニ在リテハ體重
- 八 年 齡
- 九 現在用途
- 定期市場又ハ臨時市場ノ開設者ニシテ第十九條第二項ノ規定ニ依リ秤量器ノ設備ヲ有セザルトキハ第七條ノ體重ニハ推定體重ヲ記入スベシ入場家畜賣買若ハ交換セラレタルトキハ市場開設者ハ第一項ノ彙帳ニ其ノ年月日、賣買若ハ交換當事者ノ氏名又ハ名稱及住所並其ノ價額ヲ記入スベシ
- 第十三條 市場ニ於テ賣買若ハ交換セラレタル家畜及其ノ代金ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ市場開設者ヲ經テ之ヲ授受スベシ
- 第十四條 常設市場開設者ハ當該市場ニ於テ賣買若ハ交換セラレタル家畜ノ種類毎ニ其ノ匹數並其ノ最高、最低及平均價額共ノ他監督官署ノ定ムル事項ヲ其ノ翌日場内ニ掲示スベシ
- 市場開設者ハ當該市場ニ於ケル取引成績ヲ監督官署ニ報告スベシ其ノ事項、様式及期日ハ監督官署之ヲ定ム
- 第十五條 市場開設者ハ獸醫ヲシテ市場若ハ其ノ附屬ノ場所ニ派入ルル家畜ノ健康検査ヲ爲サシムベシ
- 常設市場開設者ハ家畜ノ衛生事務ニ従事セシムル爲獸醫ヲ置クベシ

第十六條 入場業者が炭疽、假性炭疽、牛疫、牛肺疫、口蹄疫、羊痘、豚コレラ、豚疫其ノ他主管部大臣ノ特ニ指定スル家畜傳染病ニ罹リ若ハ罹リタル疑アルトキハ市場開設者ハ直ニ其ノ旨ヲ監督官署及當該市場所在地ノ家畜傳染病豫防關係官署ニ報告スルト共ニ左ニ掲グル處置ヲ爲スベシ

一 家畜ノ隔離

二 病畜ニ觸接シ若ハ觸接シタル疑アル者又ハ病畜ニ汚染シ若ハ汚染シタル場所若ハ物品ノ消毒

三 家畜傳染病ニ罹リ若ハ罹リタル疑アル家畜ノ屍體ノ焼却又ハ埋却前項第三號ノ焼却又ハ埋却ハ人家、飲料水、河流又ハ道路ニ接近セザル場所ニ於テ之ヲ爲シ埋却ノ場合ニ於ケル土坑ハ屍體ヲ投入スルモ尙地表迄一「メートル」以上ノ餘地ヲ有スルモノタルコトヲ要シ屍體ヲ投入シタル後厚ク石灰其ノ他消毒力アルモノヲ撒布シ土ヲ以テ填塞スベシ

市場開設者ハムコトヲ得ザル事由アルニ因リ第一項各號ニ掲グル處置ヲ爲スコト能ハザトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ監督官署ニ申出デ指示ヲ請フベシ

第十七條 前條第一項各號ノ處置ニ要スル費用ハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外市場開設者ノ負擔トス但シ市場開設者ハ第三號ノ處置ニ付直接要スル費用ノ一部ヲ當該業者ノ所有者ニ負擔セシムルコトヲ得

第十八條 市場及其ノ附屬建築物ノ位置ハ公衆及家畜ノ衛生上妨ゲナキ場所ナルコトヲ要ス

第十九條 常設市場ニ於テハ検査所、賣場、糞場、畜舎、隔離所、飼料倉庫及汚物溜ヲ設ケ其ノ構造設備ハ左ノ各號ニ依ルベシ但シ土地ノ狀況ニ依リ監督官署ハ之ヲ斟酌スルコトヲ得

一 検査所ハ家畜ノ健康検査、體高及體重ノ計測並治療ニ必要ナル設備ヲ爲スベシ

二 賣場ハ屋根ヲ設ケ不滲透質ノ材料ヲ以テ地盤ヲ造リ六十分ノ一ノ勾配ヲ附シ汚水溜ヲ設クベシ但シ糞場又ハ畜舎ニ於テ賣買若ハ交換スル場合ハ賣場ヲ設ケザルコトヲ得

三 糞場ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ地盤ヲ造リ六十分ノ一ノ勾配ヲ附シ汚水溜ヲ設クベシ

四 畜舎及隔離所ハ屋根ヲ設ケ不滲透質ノ材料ヲ以テ地盤ヲ造リ六十分ノ一ノ勾配ヲ附シ其ノ内壁ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ腰張ヲ爲シ適當ノ窓及通路ヲ設ケ欄房ハ馬、騾及驢ニ在リテハ一匹毎ニ牛、綿羊、山羊、豚及駱駝ニ在リテハ適當ニ之ヲ區別シ尿溜ヲ設クベシ

五 馬、騾、驢、牛及駱駝ノ飼槽ハ一匹毎ニ之ヲ設クベシ

六 飼料倉庫ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ之ヲ造リ適當ノ窓ヲ設クベシ

七 汚物溜及尿溜ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ之ヲ造リ蓋ヲ設ケ雨水ノ浸入ヲ防グベシ

定期市場及臨時市場並其ノ附屬建築物ノ構造設備ハ土地ノ狀況ニ依リ前項各號ノ規定ヲ斟酌シ監督官署之ヲ定ム

第二十條 仲立業又ハ家畜宿業ヲ營マントスル者ハ監督官署ノ許可ヲ受クベシ

監督官署前項ノ許可ヲ與ヘタルトキハ許可證ヲ下付スベシ

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ仲立業又ハ家畜宿業ノ許可ヲ受クルコトヲ得ズ

一 未成年者但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ハ此ノ限ニ在ラズ

二 禁治産者

三 一年以上ノ有期徒刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免ノ後三年ヲ經ザル者但シ監督官署ニ於テ改後ノ狀アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

四 仲立業若ハ家畜宿業ノ許可ヲ取消サレタル者



五 家畜交易市場法又ハ本規則ニ違反シテ處罰ヲ受ケ共ノ情狀重キ者  
 六 破産ノ宣告ヲ受ケ復權セザル者  
 七 三年以上畜産業ニ従事シタル經驗ナキ者  
 八 仲立業又ハ家畜宿業ヲ營ムコトニ付市場開設者ヨリ同意ヲ與ヘラレザル者  
 九 素行不良ニシテ公益ヲ害スル虞アル者  
 市場開設者ハ第二十七條第一項第五號ノ規定ニ依リ同意ヲ取消サレタル者共ノ取消ノアリタル後一年ヲ經ザルトキハ之ニ對シ前項第八號ノ同意ヲ與フルコトヲ得ズ

**第二十二條** 仲立業又ハ家畜宿業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ願書ニ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ監督官署ニ提出スベシ

- 一 履歷書
- 二 資産調書
- 三 身元ニ關スル官公署ノ證明書
- 四 營業ヲ爲サントスル市場ノ開設者ノ同意書

**第二十三條** 仲立業者又ハ家畜宿業者許可證ヲ毀損若ハ亡失シタルトキ又ハ氏名ニ變更アリタルトキハ遅滞ナク共ノ旨ヲ監督官署ニ届出デ許可證ノ再渡又ハ書替ヲ受クベシ

**第二十四條** 仲立業者又ハ家畜宿業者他ノ市場ニ營業ノ場所ヲ變更シタルトキハ遅滞ナク共ノ市場開設者ノ同意書ヲ監督官署ニ提出シ許可證ノ書替ヲ受クベシ二箇以上ノ市場ニ於テ營業ヲ爲ストキ亦同ジ但シ此ノ場合ニ於テハ各市場開設者ノ同意書ヲ提出スベシ

**第二十五條** 仲立業者又ハ家畜宿業者ハ其ノ營業ヲ爲ス市場ニ於テ自己ノ計算ヲ以テ家畜ヲ賣買若ハ交換スルコトヲ

得ズ

**第二十六條** 家畜宿業者ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外其ノ營業ヲ休止シ又ハ家畜ノ宿泊ヲ拒ムコトヲ得ズ

**第二十七條** 仲立業者又ハ家畜宿業者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ營業許可ハ其ノ效力ヲ失フ

- 一 死亡シタルトキ
  - 二 禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
  - 三 一年以上ノ有期徒刑ニ處セラレタルトキ
  - 四 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
  - 五 業務規程ニ違反シ仲立業又ハ家畜宿業ヲ營ムコトニ付市場開設者ヨリ同意ヲ取消サレタルトキ
- 仲立業者ニシテ家畜宿業ヲ兼ムル者又ハ家畜宿業者ニシテ仲立業ヲ兼ムル者共ノ一方ノ營業許可ヲ取消サレタルトキハ他ノ營業許可ハ其ノ效力ヲ失フ
- 第二十八條** 仲立業者家畜交易市場法若ハ本規則ニ違反シテ處罰ヲ受ケタルトキ又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ監督官署ハ仲立業ノ許可ヲ取消シ又ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得
- 一 家畜ノ賣買若ハ交換ノ周旋ヲ強請シタルトキ
  - 二 馬又ハ牛ノ種類、血統、産地若ハ年齢ヲ偽リ又ハ疾病惡癖ヲ隠蔽シテ賣買若ハ交換ノ周旋ヲ爲シタルトキ
  - 三 業務規程ニ依ル手續料ノ外金銭其ノ他ノ報酬ヲ強請シタルトキ
  - 四 前各號ノ外營業上不正ノ行爲ヲ爲シタルトキ

**第二十九條** 家畜宿業者家畜交易市場法若ハ本規則ニ違反シテ處罰ヲ受ケタルトキ又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ監督官署ハ家畜宿業ノ許可ヲ取消シ又ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

- 一 家畜ノ宿泊若ハ繫留ヲ強請シタルトキ
- 二 業務規程ニ依ル宿泊料又ハ繫留料ノ外金銭其ノ他ノ物品ヲ強請シタルトキ
- 三 其ノ營業ノ場所ニ於テ私ニ家畜ノ賣買若ハ交換ヲ爲サシメタルトキ
- 四 前各號ノ外營業上不正ノ行爲ヲ爲シタルトキ

第三十條 仲立業者又ハ家畜宿業者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ過滞ナク許可證ヲ返納スベシ

一 第二十七條第一項第二號乃至第五號ノ規定ニ依リ許可ノ效力ヲ失ヒタルトキ

二 許可ヲ取消サレタルトキ

三 廢業シタルトキ

仲立業者又ハ家畜宿業者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ許可證ヲ返納スベシ

第三十一條 第九條第二項、第十條、第二十三條、第二十四條又ハ前條ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十一條、第二十一條第二項又ハ第二十六條ニ違反シタル者

二 第十二條ニ掲グル事項ヲ記入セズ若ハ虚偽ノ記入ヲ爲シタル者

三 第十四條第一項ニ掲グル事項ヲ揭示セズ若ハ虚偽ノ揭示ヲ爲シタル者

四 第十四條第二項ノ報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者

第三十五條 第十三條、第十五條、第十六條若ハ第二十五條ニ違反シタル者又ハ第二十八條第一號乃至第三號若ハ第二十九條第一號乃至第三號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 許可ヲ受ケズシテ仲立業者又ハ家畜宿業者營業ミタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス許偽ノ方法ヲ以テ許可ヲ

受ケタル者亦同シ

第三十五條 監督官署市場ノ開設ヲ許可シタルトキハ其ノ許可年月日、市場ノ名稱及位置並開設者ノ名稱ヲ記載シタル書類ニ業務規程及事業計畫ヲ添ヘ之ヲ主管部大臣ニ報告スベシ業務規程又ハ事業計畫ニ變更アリタルトキ亦同シ

監督官署市場ノ開設許可ヲ取消シ、休場若ハ廢場ヲ認可シ又ハ業務ノ停止若ハ制限ヲ爲シタルトキハ之ヲ主管部大臣ニ報告スベシ

第三十六條 監督官署ハ附錄様式ニ依リ各市場毎ニ一箇年分ノ取引成績報告表及調査表ヲ作製シ毎年三月末日迄ニ附錄様式第一號及附表第一乃至第三ニ依ルモノハ之ヲ軍政部大臣ニ附錄様式第二號乃至第六號及附表第四ニ依ルモノハ之ヲ實業部大臣又ハ蒙政部大臣ニ提出スベシ

附 則

本規則ハ家畜交易市場法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

良										收										種									
牝					牡					小計	牝					牡					計								
九歲口	四歲口	三歲口	二歲口	一歲口	十六歲口以上	十五歲口	十四歲口	十三歲口	十二歲口	十一歲口	十六歲口以上	十五歲口	十四歲口	十三歲口	十二歲口	十一歲口	計	十六歲口以上	十五歲口	十四歲口	十三歲口	十二歲口	十一歲口	計					







在	種類	區別	入場頭數	買賣頭數	買賣價額	單價	最高	最低	平均	交換頭數
	此									

附錄様式 第三號  
 康徳 年 自 月 至 月  
 ××市場豚入場交易成績報告表

注意 1、備考欄ニハ該市場ノ狀況（振不振或ニ其原因等）概略其ノ他ノ記入スルモノトス  
 2、朝鮮牛ハ外國種トス  
 3、養ハ滿ニ年以下ノモノトス

備	考	計	種						
			合	用			肉		
				小	養		成牛		小
計	計	計	計	計	計	計	計		

役	用	外						種								
		小	養			成牛			合	小	用		肉		役	小
			計	計	計	計	計	計			計	計	計	計		
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	













注意  
 一 移入匹數トハ當該家畜交易市場所在縣、旗又ハ特別市外ヨリ入場セルモノノ數ヲ謂フ  
 二 移出匹數トハ入場セルモノニシテ賣買又ハ交換ノ結果當該家畜交易市場所在縣、旗又ハ特別市外ニ移出セルモノノ數ヲ謂フ  
 三 備考欄ニハ總入場匹數及賣買又ハ交換匹數ヲ馬、騾、驢別ニ記入スルモノトス

三四

附表第四

康徳 年 自一月 至十二月 ××市場入場家畜傳染病發生頭數調査表

一牛

月別	入場頭數	患頭數				計	摘要
		炭疽	牛疫	牛肺疫	口蹄疫		
九月							
八月							
七月							
六月							
五月							
四月							
三月							
二月							
一月							
計							

備考 (家畜傳染病發生概況)

月別	患頭數	計	摘要
十月			
十一月			
十二月			
計			

二豚

月別	入場頭數	患頭數				計	摘要
		炭疽	豚コレラ	豚疫	口蹄疫		
九月							
八月							
七月							
六月							
五月							
四月							
三月							
二月							
一月							
計							

三五

月	別	入場頭數	炭疽	痘	口蹄疫	頭數	摘	要
十月								
十一月								
十二月								
計								

備考(家畜傳染病發生概況)

三綿羊

月	別	入場頭數	炭疽	痘	口蹄疫	頭數	摘	要
一月								
二月								
三月								
四月								
五月								
六月								
七月								
八月								

月	別	入場頭數	炭疽	痘	口蹄疫	頭數	摘	要
九月								
十月								
十一月								
十二月								
計								

備考(家畜傳染病發生概況)

四山羊

月	別	入場頭數	炭疽	痘	口蹄疫	頭數	摘	要
一月								
二月								
三月								
四月								
五月								
六月								
七月								

備考 (家畜傳染病發生概況)	計	七	八	九	十	十一	十二
		月	月	月	月	月	月

備考 (家畜傳染病發生概況)	計	八	九	十	十一	十二	月	別	入場頭數	糞	糞	頭	數	摘	要
		月	月	月	月	月	月	月	月	糞	糞	頭	數	摘	要

五 駱 院

備考 (家畜傳染病發生概況)	計	八	九	十	十一	十二	月	別	入場頭數	糞	糞	頭	數	摘	要
		月	月	月	月	月	月	月	月	糞	糞	頭	數	摘	要